

Ⅲ 各教科等の指導重点事項

子どもたちが課題を解決したときの達成感や学んだことの意義を実感でき、主体的に学び続ける意欲を高めるためには、多様な教材や考えにふれたり、課題解決の方法や表現方法を選択したりする場を設定するなど、子どもの思いや願いに応じた授業づくりが大切です。

ここでは、各教科等における、小・中学校共通の指導重点事項を整理するとともに、「わかった」「できた」を実感でき、「もっと学びたい」につなげるための指導のあり方に焦点をあて、各教科等の特質に応じた授業づくりの一例を取り上げました。

○○科

重点事項

各教科等における、小・中学校共通の指導重点事項を示しています。

1 ←

2

子どもの「もっと学びたい」につなげるために

「もっと学びたい」につなげるために、重視したい指導のポイントを示しています。

「单元名、題材名、活動名 等」(対象学年)
本時のねらい

【教師】

学習課題：

【教師】

子どもの思いや願いに応じた教師の働きかけを、発問として示しています。

自ら学びに取り組む子どもの姿を示しています。

重点事項

1 確かな言語能力を育成する指導の工夫

- 言葉の働きに関する自分の知識や理解、認識などの変容を自覚できるような学びが、螺旋的に積み重ねられていく単元や授業を構想する。
- 小学校では日常生活において、中学校では社会生活において生かすことのできる言語能力をはぐくむために、身に付けた力を活用した実践的・体験的な活動を取り入れる。

2 叙述に即して読み取り、効果的に表現する力を高める指導の工夫

- 論理構成を適切にとらえたり、描写の意図を考えたりするなど、文章の種類に応じた読み方を身に付けることができるよう、言葉や表現に着目して吟味する活動の充実を図る。
- 相手や目的を明確にして情報を収集、検討したり、文章を推敲したりするなどの学習の過程を重視し、読み取る活動と表現する活動を相互に関連させた学習活動の充実を図る。
- 伝え合う力を高め、自分の考えを広げたり深めたりすることができるよう、一人ひとりの考えや表現を価値付け、全体で共有する場を設定する。

3 言語活動を支える基盤づくりの充実

- 言葉に対する知識を身に付け、認識を深めることができるよう、獲得させたい言葉や表現等を授業や生活の中で取り上げるなど、教師の日々の働きかけを大切にする。
- 学校司書と連携し、学校図書館や図書コーナー等を計画的に活用するなど、多様な本にふれる機会の充実を図る。

子どもの「もっと学びたい」につなげるために

- 登場人物の考え方や生き方をとらえることができるよう、既習の知識と結び付けて読み、登場人物の行動の意味や、展開の仕方の効果について考える場を設定することが大切です。

「握手」(中学校3年)

本時のねらい：登場人物の心情や人物像をとらえることができる。

【教師】別れの場面の握手と指言葉には、わたしのどのような思いが込められているのでしょうか。

- 右の親指を立てたところや、わたしから手をとって「しっかりと」握っているところから、ルロイ修道士を励まそうとしていることが伝わってきます。
- 「腕を上下に激しく振った」のは、ルロイ修道士が急に訪ねてきた理由を知り、言葉にならない思いを握手で伝えようとしているのだと思います。

- 設定…時、場所、登場人物
- 語り手…わたし
- 場面の展開…現在と回想の場面
- 登場人物の行動・様子・会話文
…握手、指言葉、しぐさ

[既習事項と関連した読みの視点]

【教師】わたしは、どのような思いで両手の人さし指を交差させ、せわしく打ちつけていたのでしょうか。

- 「おまえは悪い子だ」という意味があるので、怒りや悲しみを表していると思います。
- ルロイ修道士は葉桜にまだ間がある頃に会いに来てくれたのに、葉桜が終わる頃には亡くなっています。もっと自分の体を大切にしてほしいという思いが表れているのではないのでしょうか。
- 何もできなかった自分自身を責めているのかもしれませんが。「知らぬ間に」ということは、ぶつけようのない思いが無意識のうちに指の動きになっていたのだと思います。
- ルロイ修道士の握手や指言葉をいつの間にか受け継いでいて、そのことに自分自身で気付いたのかもしれませんが。

社会科

重点事項

1 追究意欲を高める指導過程の工夫

- ・社会的事象に対する気付きや疑問を引き出すことができるよう、探究心を喚起する学習課題の設定や資料の提示を行う。
- ・自分の考えを見つめ直したり、新たな疑問を持ったりすることができるよう、学習課題に対するまとめや学びを振り返る場面を重視する。

2 考えたことを表現する力を高める指導の充実

- ・資料から必要な情報を適切に読み取ったり、調べて分かったことを目的に応じて整理したりする活動を通して、社会的事象の意味や働き、事象間の関連などを解釈し、自分の考えを持つことができるようにする。
- ・地図や統計、年表などの資料や、調査活動を通して分かった事実をもとに、理由や根拠を明らかにして自分の考えを表現する場面を設定する。
- ・視点や目的を明確にした話し合い活動を取り入れたり、ICTを効果的に活用したりするなどして、分かった事実や一人ひとりの考えを比較したり関連付けたりすることができるようにする。

3 社会への参画意識を高める指導の工夫

- ・社会の一員としての意識を高めることができるよう、様々な立場や意見を踏まえ、よりよい社会のあり方を考えたり、社会への関わり方を選択・判断したりする場面を、各分野、単元の中に意図的に設定する。

子どもの「もっと学びたい」につなげるために

- ・単元を通して、社会的事象に対する関心を高め、思考や理解を深めることができるよう、「単元を貫く問い（探究課題）」を設定し、学習の見通しを持つ場を取り入れることが大切です。
- ・社会的事象をより多面的・多角的にとらえることができるよう、既習事項や複数の資料を関連付けて考察する場を設定することが重要です。

「世界の諸地域～オセアニア州～」(中学校1年)

本時のねらい：オセアニア州の地域的特色を追究するための課題（探究課題）を設定し、資料から読み取ったことをもとに仮説を立てることができる。

【教師】 オセアニア州の自然環境や文化、他国との結び付きにはどのような特色があるといえますか。話し合った特色をもとにして、探究課題をつくりましょう。

(資料②③から)

- ・国旗や建物からも、イギリスの植民地だった歴史があることが分かります。
- ・歴史的な背景からも、イギリスとの結び付きが強かったのだと思います。

(資料④⑤から)

- ・貿易の相手国がアジアに変わってきています。アジアとの結び付きが強くなってきたということでしょうか。
- ・結び付きが変化した理由があるのだと思います。

- ①自然や文化の特色を示す写真、雨温図、分布図
- ②イギリス植民地時代の建物が残る町並みの写真
- ③オセアニア州の国々の国旗
- ④チャイナタウンの写真
- ⑤貿易相手国の変化のグラフ

[提示資料の例]

探究課題：なぜ、オセアニア州ではアジアとの結び付きが強くなってきたのだろうか。

【教師】 「自然・気候」「産業・貿易」「歴史・文化」を視点として資料を選択し、資料から読み取ったことを関連付けて考え、仮説を立てましょう。

アジアとの結び付きが強くなったのは…

- ・オーストラリアの鉱産資源が、アジアに多く輸出されるようになったから。
- ・アジアとは距離も近く、アジアからの移民も積極的に受け入れるようになったから

- ・自然環境や気候、歴史、文化
- ・貿易相手国、輸出品の変化
- ・国内の資源開発の推移
- ・移民の出身州別割合の移り変わり 等

[提示資料の例]

算数科、数学科

重点事項

1 算数・数学のよさを実感させるための工夫

- 日常生活や数学の事象から見いだした疑問や予想を、課題設定や学習過程に生かすことで、解決する必要感を持って学習活動に取り組むことができるようにする。
- 一人ひとりが自分なりの考えを持つことができるよう、課題の提示の仕方や、解決の見通しを持つ場面を工夫する。
- 身に付けた知識や技能を具体的な場面で活用したり、さらに発展させて新たな課題を解決したりすることで、学習したことの有用性を実感することができる活動の充実を図る。

2 思考力・判断力・表現力等を育成する指導の充実

- 具体物、図、言葉、数、式、表、グラフなどを用いて、自分の考えをまとめたり、互いの考えを伝え合ったりする活動を積み重ねる。
- 子どもたちの多様な考えを価値付け、比較・検討する場の充実を図るとともに、全体で共有したことをもとに、個で振り返る場面を設定する。

3 基礎的・基本的な知識および技能を確実に習得する指導の工夫

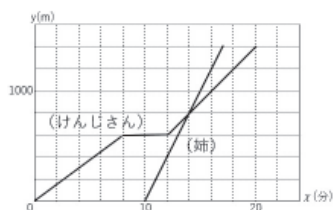
- 計算や作図など、技能の習熟を図る活動を単元の中で計画的に設定するとともに、つまずきや誤答など、子どもの反応を大切に、個への支援を一層充実させる。
- 新たな知識や技能と既習事項を関連付けて考える場面を設定するなど、学習内容のつながりを生かした指導の充実を図る。

子どもの「もっと学びたい」につなげるために

- 学習したことの有用性や発展性を実感することができるよう、既習内容から新たな問題を見だし、考察する場面を設定することが大切です。

「一次関数」(中学校2年)

本時のねらい：1次関数のグラフを利用して、問題を解決することができる。



(問い) 姉がけんじさんに追いついたのはいつでしょう。

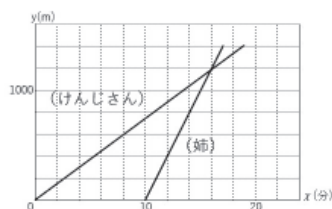
(答え) 姉はけんじさんが出発してから14分後に追いついた。

<グラフから新たに疑問に思ったこと>

- A: それぞれの速さはどれくらいなのか?
- B: 二人の到着時間はどのくらい違うのか?
- C: 休憩しなかったら、どちらが早く着いたのか?

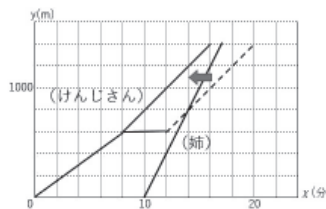
【教師】 Cさんが疑問に思った「けんじさんが休憩しなかった場合」について、考えてみましょう。

Dさんの考え



姉の方が早く着く

Eさんの考え



けんじさんの方が早く着く

【教師】 2人は違う結論になったようです。どうしてでしょうか。

- Dさんは、けんじさんのグラフを直線で表しているので、休憩後もそのままの速さで歩いたと考えたのだと思います。
- Eさんは、休憩後の速さを使って考えたのでグラフを平行移動したのだと思います。休憩後は、歩く速さが速くなっているので追いつかれなかったんですね。
- 休憩をしないと歩く速さがだんだん遅くなりそうなので、他のグラフも考えられそうです。

重点事項

- 1 自然の事物・現象についての知識や技能の習得につながる指導の充実
 - ・課題解決を通して理解を深めることができるよう、子どもの問題意識に基づく課題を設定するとともに、根拠を明らかにして結論を導き出したり、他の場面と関連付けたりする場を設定する。
 - ・観察、実験の基本的な技能の習得につながるよう、目的に応じて器具を操作する過程や結果を適切に記録する活動などを積み重ねる。
- 2 見通しを持って観察、実験を行い、思考力・判断力・表現力等を育成する指導の充実
 - ・既習内容と比べたり、生活経験と関係付けたりして、予想や仮説を立てる場を設定する。
 - ・子どもが課題に対する考察を深めることができるよう、比較、関係付け、条件制御などの考え方を働かせ、より妥当な考えかどうかについて話し合う活動を取り入れる。
 - ・探究の過程を振り返る場面を設定するなど、子どもが学んだことを活用して考えたり、問題意識を高め、新たな課題の気付きにつなげたりすることができる活動を取り入れる。
- 3 自然の事物・現象に進んで関わり、探究しようとする態度を養う指導の工夫
 - ・子どもが理科の楽しさや有用性を実感し、学ぶ意欲を高めることができるよう、学んだことを自然の事物・現象や日常生活との関連でとらえ直す場面を設定する。
 - ・進んで自然に関わろうとする態度を養うことができるよう、植物の栽培や気象観測などの直接体験を重視するとともに、必要に応じて画像や動画などを活用し、自然の変化や規則性を発見する場を設定する。

子どもの「もっと学びたい」につなげるために

- ・自ら課題を解決する方法を考えることができるよう、観察した結果を比較したり、既習内容と関連付けたりして、解決の見通しを持つ場を設定することが大切です。

「堆積岩の見分け方」(中学校1年)

本時のねらい：堆積岩を観察して特徴を調べ、その特徴から堆積岩の見分け方をまとめることができる。

学習課題：堆積岩を見分ける方法を見付けよう。

【教師】堆積岩の標本を観察して、観察カードに特徴をまとめましょう。

＜観察カードにまとめる特徴＞

- ①岩石の粒、大きさ、形など表面の様子
- ②化石が含まれているかどうか
- ③岩石のかたさ
(表面をひっかいたり、ハンマーで割ったりして確認する)
- ④うすい塩酸を2、3滴かけたときの変化

- ・うすい塩酸で泡が出るのは石灰岩だけです。
- ・角がとれた粒でできている堆積岩が3つありました。
- ・観察カードにまとめた特徴を比較すれば、見分け方が見付かるのではないのでしょうか。

岩石名		砂 岩
表面のようす	表面はざらざらしている。 1mmくらいの直径の粒からできている。 岩石の色は灰色だった。	
化石	化石は入っていないかった。	
かたさ	ハンマーでたたいたら不規則に割れた。	
塩酸との反応	反応はなかった。	

[観察カードの例]

【教師】共通点や相違点を利用して堆積岩を見分ける方法を考えてみましょう。

- ・観察カードから表を作ったらいいと思います。
- ・何からできた堆積岩かを基準に、分類した表ができないか考えます。
- ・植物の分類のように、枝分かれする図にまとめることができそうです。
- ・みんなはどのような見分け方をしているのか聞いてみたいです。
- ・自分で考えた方法で実際に見分けられるか、試してみたいです。

重点事項

1 自分のよさや可能性に気付くことができる指導の工夫

- ・自分自身の成長について実感し、次の活動への意欲を高めることができるよう、見付けたことをICTを活用して写真等で記録させるとともに、自分でできるようになったことや役割が増えたことなどを振り返り、表現する場面を設定する。
- ・自分のよさや得意としていることに気付くことができるよう、友達のよさを互いに伝え合う活動を設定する。
- ・各単元における子どもの成長を見取り、「～ができるようになったね。」「～博士になったね。」などの言葉がけをし、認めたり励ましたりする機会の充実に努める。

2 幼児期の教育や中学年以降の学びとのつながりを意識した指導の工夫

- ・「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を手がかりに、遊びを通してはぐくまれた学びについて把握するとともに、入学当初においては、生活科を中心に各教科等との関連を図った単元を構成するなど、合科的・関連的な指導を工夫する。
- ・生活科での学びが、中学年以降の社会科や理科、総合的な学習の時間等に発展的につながっていくよう、子どもの思いや願いを生かした主体的な活動を重視するとともに、人や社会と関わることの楽しさや、自然の不思議さ、面白さを実感できる活動を設定する。

子どもの「もっと学びたい」につなげるために

- ・自分自身の成長を実感し、次の活動への意欲を高めることができるよう、友達と交流したり、自分でできるようになったことを振り返ったりする場を設定することが大切です。

「もうすぐ 2年生」(小学校1年)

本時のねらい：1年間を思い起こし、周りの人との関わりを通して自分が頑張ったことやできるようになったことなどに気付くことができる。

【教師】入学してから今までで、頑張ったことやできるようになったことは何かな。

- ・なわとびの練習をたくさんしたら、前とびが50回続いたよ。
- ・アサガオのお世話をがんばりました。
- ・たし算やひき算が得意になったよ。
- ・「秋のたからものランド」で迷路のおもちゃがじょうずに作れました。

<資料>

- ・これまでに描いた絵や作品
- ・生活科カード
- ・行事や学習での様子を撮影した写真や動画

など

【教師】みんなすごいね。そのとき、周りの人はどうしてくれたかな。

- ・なわとびを練習していたら、友達が応援してくれてがんばろうって思ったよ。
- ・2年生が「アサガオの土が乾いているよ」って教えてくれたから、花が咲くまで水やりを忘れずにできました。
- ・たし算カードで練習するとき、友達がいつも問題を出してくれたよ。
- ・友達と一緒に、何回も迷路の通り道を作り直したから、じょうずにできたと思う。
- ・「秋のたからものランド」で、幼稚園の友達にいっぱい遊んでもらえるようにがんばったよね。

【教師】みんな立派な2年生になれそうだね。2年生になったらどんなことをしたいかな。

- ・今度は野菜づくりをするから、おいしい野菜を育てたいな。
- ・2年生にアサガオのお世話の仕方を教えてもらったから、今度は私が1年生に教えてあげたいです。
- ・1年生には、学校のことをたくさん教えたいな。

音楽科

重点事項

1 知覚と感受を関わせ、音楽のよさを実感する指導の充実

- ・音楽表現を工夫したり、音楽を味わって聴いたりすることができるよう、音楽を形づくっている要素と曲想とを結び付けて考え、言葉で伝え合う活動を適切に位置付ける。
- ・曲を聴いて感じ取った面白さや美しさと、音楽を形づくっている要素の働きとを関連付けてとらえることができるよう、聴く視点を示したり、つぶやきを取り上げて問い返したりするなどの手立てを講じる。
- ・思いや意図を持ち、試行錯誤することにより高まった音楽表現を全体で共有する場を設け、価値付けることで、曲や表現のよさを実感させる。

2 音楽活動の基礎的な能力を培う指導の充実

- ・表現を創意工夫するために必要な技能を習得できるよう、個々の思いや意図を伝え合う活動と音楽で試す活動を行き来させる学習過程を重視する。
- ・表現領域の複数の分野を関連付けたり、表現領域と鑑賞領域を関連付けたりするなど、題材において取り上げる音楽を形づくっている要素を明確にした指導を積み重ねる。

3 多様な音楽のよさを感じ取らせるための指導の充実

- ・長唄や民謡など、郷土の音楽や諸外国の様々な音楽のよさを味わうことができるよう、それらの音楽の特徴をとらえることができる教材を選択するとともに、曲に合った歌い方や楽器の特性を生かした演奏の仕方を指導する。

子どもの「もっと学びたい」につなげるために

- ・鑑賞の学習で、子どもたちが新たな疑問や気付きを得ることができるよう、聴く視点を明確に持ち、音楽を繰り返し聴いたり、音楽と楽譜とを比較したりしながら、知覚と感受の関わりについて言葉で伝え合う活動を設定することが大切です。

「曲の構成に注目しながら、曲想の変化を味わおう～交響曲第5番ハ短調第1楽章」（中学校2年）
本時のねらい：音色、リズム、旋律、形式、構成を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えることができる。

【教師】第1主題と第2主題の感じがこんなに違うのはなぜでしょう。

- ・初めの動機はものすごく迫力があるけれど、第2主題の最初は優しい感じがします。強弱が違うからでしょうか。
- ・第1主題は動機が何回も繰り返されているので、何かが迫ってくる感じがします。
- ・動機を演奏する楽器の違いも関係があるのではないのでしょうか。

【教師】動機を手がかりに、第1楽章の曲想の変化について考えてみましょう。



<1班>

- ・何回動機が使われているか数えてみよう。
- ・色々な楽器がリレーで動機を演奏している。
- ・しかもだんだん強くなっていくから恐ろしい感じがする。

<2班>

- ・2つの主題はfなのに感じが違う。
- ・弦楽器での演奏とホルンのソロだから、ホルンの方が柔らかい感じがする。
- ・展開部もホルンとクラリネットだけなのに感じが違うのはなぜだろう。

<3班>

- ・ この形が多い。
- ・ この形もある。
- ・動機が上に上がるから、希望を感じるのか。
- ・第2主題はすごく明るい。長調なのか。

【教師】動機を手がかりに第1楽章を聴いて、どんなことを感じましたか。

- ・動機をたくさん使うことで、ベートーヴェンは自分の辛い運命を表したかったのではないかと思います。
- ・動機が上に上がったり長調になったりしているから、人生の中には少し希望もあることを伝えたいのかもしれません。
- ・動機が、他の曲でも使われているのか調べてみたいです。

※動機：音楽を構成する単位として最も小さな旋律やリズムのまとまりのこと

図画工作科、美術科

重点事項

1 思いを膨らませ発想を広げる導入の工夫

- ・「今の気持ちの色」や「形から感じるイメージ」など、題材について形や色などの視点から子どもの考えを引き出し、共有する場を設定する。
- ・作品制作の主題を明確にするために、思いを言葉で表したり、イメージマップを作成したりするなどの活動を取り入れる。

2 思考力・判断力・表現力等が高めるための工夫

- ・感性や想像力を働かせ、感じ取ったよさや美しさを自分の表現に生かすことができるよう、表現と鑑賞の活動を相互に関連させる場の充実を図る。
- ・子どもが創造的に作品づくりに取り組むことができるよう、用具や材料に選択の幅を持たせたり、試行錯誤の場を設定したりする。

3 表現の多様性や、身近なもののよさ、美しさへの関心が高める指導の充実

- ・楽しく豊かな生活を創造しようとする態度を養うために、生活や社会の中に見られる形や色彩、作品などから感じ取ったよさや美しさについて話し合う機会を設ける。

子どもの「もっと学びたい」につなげるために

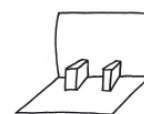
- ・自分の作品について思いを膨らませ、構想することができるよう、デザインを発想する段階で、互いのイメージを交流する場面を設定することが大切です。

「ポップアップカード」(中学校1年)

本時のねらい：飛び出す仕組みを使って、カードをデザインすることができる。

【教師】飛び出す仕組みを試作しながら、思いついたアイデアを出し合ってみましょう。

- ・開いたときに立体になる部分をボールの形にすると、飛んでくる感じにできそうです。
- ・仕組みが同じでも、2つ作って人とボールにすると、サッカーをしている感じにもできそうです。
- ・2つの仕組みを使ってそれぞれの大きさや高さを変えると、人と動物が遊んでいる様子を表すことができそうです。



[試作した仕組みの例]

学習課題：思いを伝えるカードをデザインしよう。

【教師】どのような工夫をすると、思いをカードに込めることができるでしょうか。

- A：先輩への激励の思いを込めたデザインにするために、バスケットボールが飛び出す仕組みを工夫してみたいです。
- B：選ぶ仕組みによって迫力を出すことができそうですね。飛び出す絵本を見たことがありますが、カードの参考になりそうですよ。
- A：仕組みについて調べてみると、イメージがもっと広がりそうですね。
- C：激励の思いを表現するなら、原色を使って、鮮やかな色使いで表現するのはどうでしょうか。
- A：ボールを目立たせるためにも、原色を使うのはいいですね。背景をにぎやかにすると応援している感じを強く表現できそうです。
- B：色によって伝わるイメージが変わってきますね。私は祖父にカードを送るので、淡い色を使ってみようと思いました。

体育科、保健体育科

重点事項

1 運動意欲を高める学習過程の工夫

- 成功体験を積み重ね、自信を持って運動に取り組むことができるよう、本時のねらいをもとに、主運動につながる準備運動を取り入れたり、技能の実態に応じてルールを工夫したりする。
- 撮影した動画を用いて、導入で個々のめあてを設定させたり、終末で自分の変容に気付かせたりするなど、ICTを効果的に活用する。

2 思考力・判断力・表現力を育成するための指導の充実

- 課題を解決したり活動の仕方を決めたりするための話し合い活動や、互いに助言したり教え合ったりする活動の際には、「よい動きについて確認する」「ルールや練習方法、練習の場等を選ぶ」「作戦を立てる」などの視点を明確にする。
- ICTを活用して自分や友達、チームの動きなどを撮影し、小学校では、よりよい動きをイメージしやすくしたり、中学校では、自他の動きを比較して課題をとらえさせたりする。

3 健康の保持増進と体力の向上に向けた取組の充実

- 健康の大切さを実感し、生涯を通じて自らの健康を適切に管理、改善していく能力を高めるために、健康的な生活習慣と自らの日常生活の様子とを比較して考えたり、話し合ったりする場面を設定する。
- 食事、運動、睡眠などの調和のとれた生活習慣が身に付くよう、養護教諭や栄養教諭等と連携した保健分野の学習を推進する。

子どもの「もっと学びたい」につなげるために

- 技能の向上を実感することができるよう、試合の内容を分析し、課題に応じた攻撃や守備の方法を選択、決定する場を設定することが重要です。

「球技 ネット型 バレーボール」(中学校1年)

本時のねらい：ボールを持たない時の動きに着目し、自己の課題やチームの課題を見付け、練習や試合に生かすことができる。

学習課題：ボールを持たないときの動きを工夫して、チームに合った作戦を考えよう。

【教師】それぞれの角度から撮影した動画を確認して、どのようなことに気が付きましたか。

A (真横から撮影)

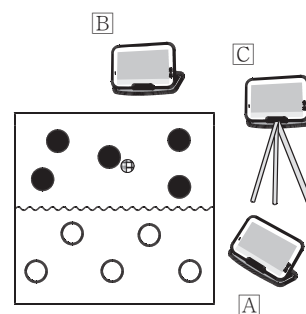
- しっかりと重心を落として構えていたので、ボールに素早く反応し、アンダーハンドパスが上手にできていました。でも、後衛が横一列に並んでいて、中央のスペースが大きく空いていました。

B (正面から撮影)

- 体の正面でレシーブすることができていましたが、コートの中真ん中にボールが落ちることが多かったです。

C (高い位置から撮影)

- 立ち位置のバランスはととてもよかったのですが、返球した後に、その場に立ったままボールを眺めていることが多かったです。



【教師】次の試合に向けて、攻撃と守備の両面からどのような作戦を立てますか。

- 攻撃では、アンダーハンドパスを高く上げて次の人につなぎます。ボールをつないだ後は、仲間からパスがもらえる位置に素早く移動したいと思います。
- 相手側のコートの空いているスペースを見付けて、そこへ返すことを意識します。
- 人がいないスペースをつくらないように、立ち位置に段差を付けることを意識して守備をします。
- 全員で声を掛け合ってお互いの立ち位置を確認し、カバーし合いながらプレイしたいと思います。

家庭科、技術・家庭科

重点事項

1 確かな知識・技能の習得を図る指導の工夫

- ・実践的・体験的な学習を通して、「なぜそうなるのか」「どうしてそうするのか」「どのような関係や法則があるのか」などの疑問を大切に授業を展開する。
- ・調理、製作等の実習ではICTを活用し、写真や動画で、道具の持ち方や安全な使い方、操作の方法や姿勢などについて、互いに確認し合う場を設定する。

2 思考力・判断力・表現力を高める指導の工夫

- ・課題解決に必要な力を養うことができるよう、題材を構成する際には、「生活や社会の中から問題を見いだして課題を設定する」「解決方法を検討する」「課題解決に向けた実践を行う」「実践を評価・改善する」「よりよい生活や社会の実現に向けて考察したことを表現する」などの活動を適切に位置付ける。
- ・ICTを活用して、子どもの思考の過程や結果を可視化することや、考えを短時間で共有し、「比較する」「関連付ける」「分類する」などの活動の時間を保障することを通して、考えを広げたり深めたりできるようにする。

3 学ぶ意欲を高める指導の工夫

- ・日常生活と深く関わる題材を設定し、自らの生活や身近な技術への関心を高めることを通して、課題を積極的に解決しようとする態度をはぐくむ。
- ・学んだ知識や技能が、よりよい生活に結び付いていることを実感できるように、学校や家庭で実践したことを継続的に記録し、互いに紹介する場を指導計画に位置付ける。

子どもの「もっと学びたい」につなげるために

- ・生活や社会と関連させて課題を見付け、新たな解決策を見いだそうとする意欲につなげることができるよう、これまでの生活での経験や調べたことを共有し、様々な視点から検討する場を設定することが大切です。

「エネルギー変換の技術」(中学校2年)

本時のねらい：発電に関する技術を評価し、適切な選択と管理・運用のあり方について考えることができる。

学習課題：持続可能な電力供給のあり方について考えよう。

〔発電方法の長所(○)と短所(△)をまとめた例〕

火力発電	○安定供給が可能	△CO ₂ を排出する、燃料を輸入に頼る
風力発電	○燃料の費用がかからない	△発電量が安定しない
太陽光発電	○CO ₂ を排出しない	△日射量の少ない場所に適さない

【教師】発電方法の特徴から、どのようなことに気づきましたか。

- ・火力発電は安定供給が可能ですが、燃料を輸入に頼っているため、発電費用がかかります。
- ・太陽光発電はCO₂を排出しないので環境に優しいと思います。
- ・最近、秋田市で風力発電の施設が増えているのも環境への影響が重視されているからでしょうか。

【教師】私たちの生活やこれからの社会にとって、持続可能な電力供給を考えてみましょう。

- ・環境への影響を考えると水力発電、風力発電などの再生可能エネルギーを使った電気を利用したいです。
- ・電力が不足しないように安定した電力供給が必要です。電気料金は私たちの生活にも関わってきます。
- ・安定した電力供給と発電費用の視点から考えると、課題はあるけれど原子力発電は優れていると思います。
- ・将来のことを考えると安全性を重視する必要もあると思います。
- ・どれか1つの発電方法に頼るのは難しいのではないのでしょうか。いくつかの発電方法を組み合わせることを考えてみたいですね。

外国語（英語）科

重点事項

1 コミュニケーション能力を高める指導の充実

- ・実際のコミュニケーションの場を想定させ、子どもが必要性、有用性を実感しながら身に付けた知識や技能を活用する活動を設定する。
- ・英語で互いの考えや気持ちを伝え合う言語活動を主な活動に位置付けるとともに、伝える内容を整理し、相手に分かりやすく伝えることができるよう、活動と指導の場面を繰り返す。

2 思考力・判断力・表現力をはぐくむ言語活動の工夫

- ・子どもの興味・関心を踏まえた課題を設定し、既習の語彙や表現を用いて考えや気持ちを自由に述べ合う時間を設けるなど、豊かな表現力を身に付けさせる機会の充実を図る。
- ・外国語の背景にある文化に対する関心を高め、理解を深めるために、ICT等を活用して調べたり、ALTに質問したりする活動を充実させる。

3 小・中学校の学びの連続性を意識した指導の充実

- ・各学年での学びの連続性を意識し、日常的な話題や社会的な話題について、自分の考えを即興的に表現する活動を段階的に設定する。
- ・CAN-DO形式での学習到達目標リスト等を活用し、小学校と中学校の到達目標に対する共通理解を図るとともに、目標や達成状況を子どもと共有した上で、授業を行う。

子どもの「もっと学びたい」につなげるために

- ・伝えたい内容を整理しながら相手に分かりやすく伝えようとする意欲を高められるよう、言語活動と既習事項を関連付けた指導の場面を繰り返すことが大切です。

「Stage Activity 3 My Favorite Place in Our Town」（中学校2年）

本時のねらい：自分がおすすめしたい場所の特徴やよい点を伝えることができる。

学習課題：おすすめしたい場所を1つ選び、伝えたい内容を整理しよう。

（ALTからのお願い）

- ・8月に家族が初めて日本に来るので、おすすめの場所について教えてほしい
父：風景の写真を撮ることが好き 母：日本の文化に関心あり 弟：初めての海外旅行

○1 回目の活動後（活動の目的を確認しながら、内容面に関する指導）

[ALT] Who do you want to introduce to your favorite place, Aさん?

A: Your father. My favorite place is 伏伸の滝. It's so beautiful.

[ALT] Wow! I don't know about it. Why do you like it?

A: I like it because we can enjoy taking pictures there.

I like to go there early in the morning because it's cool.

[教師] That's good information. Please tell his father about it.

I'm sure that he will be happy to hear that.

○2 回目の活動後（内容に関わらせた言語面に関する指導）

B: Can you see 桜 in your town?

[ALT] No, we can't.

B: My favorite place is Senshu Park because we can see 桜.

[ALT] Oh, is that so? I want to see cherry blossoms.

Could you tell me more about this place?

B: Cherry blossoms are very famous. Many people visit every year.

[ALT] Sounds great! Then you can say, "This place is famous for cherry blossoms and it is visited by many people."

[教師] I think that you can say, "Going in spring is a must!"

B: Thank you! When I went there at night, I enjoyed seeing 夜桜.
How do you say 夜桜 in English?

【Tool Box】

- ・…be a must
- ・be famous for ~
- ・be visited
by many people

道徳科

重点事項

1 多面的・多角的に考える指導の工夫

- 子どもの実態や育てたい姿をもとに、その内容項目について最も考えさせたいことを明確にしたねらいを設定する。
- 子どもが様々な視点から語り合い、広い視野から道徳的価値について考えることができるような発問や問い返しを工夫する。
- 動作化や役割演技などの表現活動、問題解決的な学習を取り入れるなど、子どもが自らの考えをもとに、互いに考えを交流し深めていくことができるような授業の展開を工夫する。

2 自己の生き方について考えを深める指導の工夫

- 子どもが問題意識を持ち、道徳的価値の理解をもとに自己を見つめる動機付けを図る導入の工夫をする。
- 子どもの思考を深める手がかりとなるような板書の工夫をしたり、子どもが自己の生き方についての思いや願いを持つことができるような終末の工夫をしたりする。

子どもの考えを深めるために

- 道徳的価値の理解をもとに、物事を多面的・多角的に考えることができるよう、教材の登場人物に自分を重ねたり客観的に見たりして話し合う場を設定することが大切です。
- 自己を見つめ、よりよい生き方について考えを深めることができるよう、話し合いの視点を焦点化し、自分との関わりで考えるための手立てを工夫することが大切です。

主題名：自分の弱さと向き合う（Dよりよく生きる喜び）

教材名：「足袋の季節」（中学校3年）

本時のねらい：登場人物の心の揺れについて話し合うことを通して、人間の持つ「強さ」や「よりよく生きる喜び」に気付き、弱さと向き合い、誇りある生き方を目指そうとする道徳的的心情を育てる。

○事前アンケートの結果をもとに学習テーマを設定する。

- 誘惑に負けてしまうのは、自分の弱さで、嫌だし、困っていると考えている人が多いですね。
- 誘惑に負けてしまうのは、人間だから仕方がないと考えている人もいます。
- 誘惑に負けてしまって後悔することが多いです。
- 自分の弱さをなんとかしたいと考えている人や、仕方がないと考えている人がいるのですね。

「弱さと向き合う」とはどのようなことだろう。

【教師】「自責の念」と「甘い考え」という「私」の心の揺れについて考えましょう。

〔自責の念〕 恥ずかしいことをしてしまった。

ごまかしたままではだめだ。

〔甘い考え〕 おばあさんは全部分かっていたのだから、そのうちお金を返せばいいんだ。

【教師】私は、どうして「おばあさんが私にくれた心」を誰かに差し上げなければならないと思うのでしょうか。

- 後悔している自分だからこそ、ずるい生き方をせずに精一杯生きることの大切さを伝えていきたいと思うからです。
- 自分も、誰かの支えになるような生き方をしたいと思うからです。

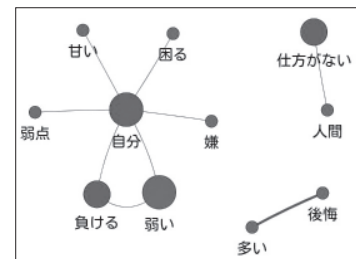
【教師】「弱さと向き合う」とはどのようなことだろう。

- 苦しいことだけれど、自分の弱さを認めながら乗り越えていこうとすることだと思います。
- 弱さは誰にでもあるものです。でも、向き合うことで強く生きていくことができるのではないのでしょうか。

①誘惑に負けてしまうのはどんなときですか



②誘惑に負けてしまうことをどう思いますか



特別活動

重点事項

1 話し合い活動の充実

- ・学級や学校のよりよい生活づくりにつながる集団決定ができるよう、「相手の意見を取り入れ、折り合う」「反対するだけでなく、改善策を提案する」など、相手の立場も踏まえた建設的な話し合い活動の充実を図る。
- ・短冊やホワイトボード等を活用して、一人ひとりから出された意見を分類・整理するなど、合意形成までの流れを可視化したり、構造化したりする。
- ・積極的に社会に参画する力をはぐくむために、子どもが話し合い活動の課題を自分事としてとらえ、合意形成や意思決定したことを実践する機会を設定する。

2 体験活動の充実

- ・よりよい生活や望ましい人間関係を築く力をはぐくむことができるよう、学年・学級における集団活動や異年齢集団活動など、様々な人との関わりを通して体験を共有したり、多様な価値観にふれたりする機会の充実を図る。
- ・事前に活動のねらいを十分に理解させるとともに、自他のよさに気付き、活動の成果を今後の生活に生かすことができるよう、個人の変容や集団の成長に着目した記述や発表を取り上げ、価値付ける。

子どもの「もっと学びたい」につなげるために

- ・よりよい自分を目指して実践する内容を具体的に考えることができるよう、アンケートやワークシートを活用し、話し合い活動や意見交換を通して自己理解を深める場を設定することが大切です。

「自分のよさ、友達のよさ」（中学校1年）

本時のねらい：個性について理解し、自他の「よさ」を学校生活の中でどのように生かすか、考えることができる。

学習課題：自分のよさを生活の中でどのように生かせるか考えよう。

【教師】 ワークシートを振り返って、どのようなことに気が付きましたか。

- ・みんなからチェックをしてもらい、自分では気が付かなかった自分のよさを発見できました。
- ・得意なことや長所が、一人ひとり違っていて、それが個性なのだと思います。
- ・自分で気が付かなかったよさをもっと伸ばしたいと思いました。

【教師】 これからの生活で、自分のよさをどのように生かしていくか考えてみましょう。

あてはまるものに☑	友達から見ても		
	☐	☑	☑
☑運動が得意	☐	☑	☑
☑文章を書くのが得意	☑	☑	☑
☐説明することが得意	☑	☑	☑
☐手先が器用である	☐	☐	☐
☐集中力がある	☐	☑	☐
☑責任感がある	☑	☐	☑
☐誰とでも仲よくできる	☑	☐	☐
☐粘り強い	☑	☐	☑
☑ユーモアがある	☐	☑	☑

[ワークシートの例]

A：いろいろなことにチャレンジしていけば、自分のよさを生かす場面が増えそうです。

B：そうですね。私は、説明することが上手だと言われてうれしかったので、これからは、積極的に発表することを頑張りたいと思います。

A：私は、自分から挨拶をしたり声を掛けたりして、クラスの雰囲気をもっと明るくしていきたいです。

C：それぞれがよさを発揮することで、もっといいクラスにしていきたいです。

総合的な学習の時間

重点事項

1 探究的な学習活動の充実

- ・体験から生じた疑問や体験活動前後の認識の違いから探究課題を設定させることで、課題意識を持ち主体的に学習を進めることができるようにする。
- ・「課題の設定」「情報の収集」「整理・分析」「まとめ・表現」の探究の過程において、ICTや考えるための技法を効果的に活用し、学習活動の充実を図る。

2 他者と協働的に取り組む学習活動の充実

- ・他者と考えや意見を交流する機会を設定し、自分の考えをとらえ直して再構築したり、新たな疑問や課題を持ったりすることができるようにする。
- ・他者と協働して、複数の情報を比較・分類しながら必要な情報を選択したり、関係性を読み取りながら整理・分析したりするなど、新たな価値を見いだすことができる活動を学習過程に取り入れる。

3 地域や実社会とのつながりを深める学習活動の充実

- ・学校や地域の特色を生かしながら、地域をフィールドにした調査活動や体験活動の充実を図るとともに、地域の方や専門的な知識を有する方などに関わる場面を設定する。
- ・自分たちの身近な生活と社会の出来事を結び付けるなど、広い視野から物事をとらえ、考える学習活動を取り入れる。

子どもの「もっと学びたい」につなげるために

- ・体験を通して実感したことから、解決すべき新たな課題を見いだせるよう、他者と考えや意見を交流し、様々な視点から考える学習活動を工夫することが大切です。

「未来の自分に向かって」（中学校2年）

本時のねらい：職場体験の振り返りから得られた気付きや疑問を、新たな課題につなげることができる。

○職場体験の振り返りをグループで行い、分かったことや感じたことを共有する。

Bさん [消防署]	Aさん [農園]	Dさん [コンビニ]
	Cさん [美容室]	
違う職場を訪問したメンバーでグループを作り、それぞれが体験の振り返りを発表する。		

発表メモ（Aさん）

[農園 野菜の収穫体験]

- ・朝早くからの作業→大変さ、やりがい
- ・道の駅での直売→安い、安心
- ・台風被害による苦勞
- ・高齢化問題、後継者不足

【教師】 発表を聞いて考えたことや、さらに聞いてみたいことを出し合いましょう。

B：農家になるためにはどうすればよいのでしょうか。資格は必要でしょうか。

C：農業高校以外にも農業について学ぶ場所はあるのかな。

A：機械の操作や栽培に関わる資格はありそうですね。

D：台風や豪雨が年々増えているように感じます。

C：祖父の畑も8月の豪雨で冠水し、愛情をかけて育てた野菜の収穫が期待できないと落ち込んでいました。

[体験、意見交換を通して生じたAさんの新たな疑問]

- ・自然災害に対して、農家の方が自分たちでできる対策はあるのだろうか。
- ・困っている農家に、国や地域はどのような支援策を講じているのだろうか。

【教師】 今日感じた疑問を整理し、今後探究していく新たな個人の課題を設定しましょう。

小学校外国語（英語）活動

重点事項

1 コミュニケーション能力を育成する単元計画の工夫

- ・単元の終末で目指す子どもの姿を明確にし、単元を中心となる言語活動を設定した上で、各単位時間の活動計画を作成する。
- ・単元全体を通して、英語を用いて互いの考えや気持ちを伝え合う言語活動を繰り返し設定する。
- ・コミュニケーションを行う相手や目的、場面、状況等を明確にし、英語で尋ねたり答えたりする必然性のある場面を設定する。
- ・言葉や文化の面白さ、豊かさを実感することができるよう、ネイティブスピーカーとのチームティーチングを効果的に活用したり、ICTを用いて世界の言語や文化にふれたりする機会を設ける。

2 英語で会話しようとする意欲を高める指導の工夫

- ・教師自身がモデルとなり、ネイティブスピーカーとのコミュニケーションにより思いが通じ合う楽しさを示すなど、子どもが自分もやってみたいと感じられるような場を設定する。
- ・「英語だけど分かった」という実感に結び付けられるよう、イラストやジェスチャー等の視覚的な情報を手がかりに意味を推測しながら聞く活動を設けたり、あいさつや簡単な指示、称揚などを英語で行ったりする。

子どもの「もっと学びたい」につなげるために

- ・英語を使って思いが通じ合う喜びや達成感を持つことができるよう、伝え合う必然性のある課題を設定したり、スモールステップを踏んだ活動を行ったりすることが大切です。

「Unit4 What time is it?」（小学校4年）

本時のねらい：好きな時間や好きなことについて伝え合う。

学習課題：友だちの新たな一面を発見するために、好きな時間や好きなことについてたずねよう。

<やり取り①>

Aさん：I like 3 p.m.

Bさん：Why?

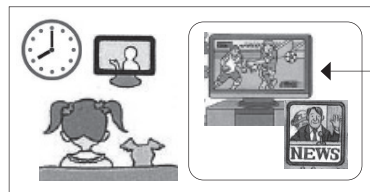
Aさん：It's "Snack Time".

Do you like "Snack Time"?

Bさん：Yes, I do.



【①Aさんのカード】



【②先生のカード】内容を付け加える

【教師】友だちの好きなことについてより詳しく知るためには、どのような質問をしたらよいでしょう。

<やり取り②>

【教師】：B san, I like 8 p.m.

Bさん：Why?

【教師】：It's "TV Time". I like sports and news. Do you like news?

Bさん：え〜っと…ニュース…。No…, No, I don't.

【教師】：OK. What TV program, 番組 do you like?

Bさん：アニメ…。I like anime… それから…音楽番組も。

【教師】：I see. You like animation and music show! That's nice!
What time is your TV time?

Bさん：It's 7 p.m.



[Bさんの思い]

先生と話したら、Aさんのときより話がたくさん続いた！うれしい！
何が好きかを聞くのは少し難しそうだけれど、もう一度Aさんとお話して
好きなおやつについて聞いてみたいな。